



株式会社みなもと農園  
代表取締役  
取締役  
田代かよ子さん・源市さんに聞く



【株式会社みなもと農園】(夏秋きゅうり、水稲、民宿「アットホームやましよう」など)  
平成23年8月1日に、集落営農への意識高揚を図るため、株式会社みなもと農園を設立。現在では、従業員4人を雇用し、会津での周年農業(季節にかかわりなく、年間を通じて行う農業)の確立を目指しています。

現在の経営状況などをお聞かせください。

**かよ子さん** 夏秋きゅうり30ヶ(ハウス4棟、露地のネット栽培2棟)、水稲630ヶ、カボチャ、ほうれん草、レタス、雪下キャベツなどを栽培しています。主に農協や道の駅、大手量販店に出荷しています。露地のネット栽培は、網により害虫がつかないため、殺虫剤の農薬使用を抑え、より美味しいものを消費者へ届けることができます。

**法人設立のきっかけと会社名の由来を教えてください。**

**かよ子さん** この集落も後継者不足により、離農する方が増え、これまでに農地を400ヶほど取得しました。そのような中、今後、集落営農の取り組みへの足掛かりとなるよう法人化しました。

**源市さん** 食糧は生命の源(みなもと)であり、私の名前にも使用されているためです。

**経営の中での特徴的なことを教えてください。**

**かよ子さん** 今、ほおずき栽培に取り組み、ほおずきにまつ

わるさまざまな言い伝えも広めています。

ほおずきは漢字で「鬼灯」と書きます。お盆にほおずきを仏壇に飾るのは、精霊が提灯に見立てたほおずきの灯りなどを頼りに帰ってくると言われているからです。また、ほおずきは必ず下から順に色づくことから、「子が親より先に亡くなりませんように(歳の順に召されるように)」という願いを込めています。

市内小学校などで、ほおずきを題材にした紙芝居を行い、子どもたちに意味合いを伝え、先祖を敬う気持ちや命を大切にすることを伝えています。

**エピソードなどお聞かせください。**

**源市さん** きゅうり栽培歴は40年を数えます。以前はきゅうり栽培の収入は、年によってハイリスク・ハイリターンなところがあり、1箱8000円の高値の時に、作付け場所の選定ミスにより、あまり収穫できなかつた苦い思い出があります。しかし、それをバネに地域

で良質なものを安定して作れるようになりました。

**男女共同参画社会についてお聞かせください。**

**かよ子さん** 大型免許や大型特殊免許も取得しており、5年前から農業機械はすべて私が操縦しています。

**源市さん** 妻の社長就任は、新たな視点で経営展開してほしいとの願いからです。女性が仕事などでも活躍できるように側面から支援しています。

**今後の展望についてお聞かせください。**

**かよ子さん** 現在、「あめな」ブランド野菜などの販売に力を入れています。ポカシ肥料(米ヌカ・油カス・骨粉・魚カスなどに微生物資材を入れ醗酵させたもの)で野菜などを育てると、とても甘くなりました。ことからこの名称にしました。

【株式会社みなもと農園の活動は市ホームページにも掲載】

【企画調整課 政策調整室 企画調整係】

☎(24)5209